

拝啓 残暑お見舞い申し上げます。

今年も早や8月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。8月22日には、台風が来て大雨が降りましたが、少しさわやかな日が戻っています。近所の公園では、百日紅の花が咲いております。

今回は、内村鑑三先生の『続一日一生』からの引用の5回目です。

「5月31日」のところに、キリスト教は霊的宗教である、とありますが、内村先生は、キリスト教は霊的真理であること、聖霊を受けることが大切であることなどをいつも強調されます。問題は、どうやってキリスト教の霊的真理を受けるか、聖霊を受けるか、ということです。小西先生は、そこを、称名せよ、称名することによって霊的真理が受けられることを強調されます。これは、全く正しいと思います。

鈴木範久先生の『道をひらく——内村鑑三の言葉』（NHK出版）という本を読みました。この本は、鈴木先生がNHKテレビで1年内村鑑三について、放映されたときのテキストを中心に編集された本だと思いますが、大変優れた本だと思います。この本に、内村先生の次のような文章が紹介されています。

「如何なる場所にて祈るべきか。「汝祈るときは厳密なる室に入り戸を閉じて隠れたるにいます汝の父に祈れ」祈禱は父との会話である。故に人の見えざる所にて祈るべきである、…余輩の記憶に止まれる最も麗しき地はみな祈禱の場所である、祈禱の森、祈禱の小丘、祈禱の川端である。」

7月23日（土）は、日帰りで伊豆大島の三原山登山をしてきました。バス終点から40分歩いて外輪山へ、噴火口の周りを一周するのに40分、頂上から三原山温泉ホテルまで1時間、三原山温泉ホテルでは、露天風呂で登山の汗を流しました。この日高速船は、岡田港ではなく元町港から発着で、船が出るまでの短い待ち時間に、タクシーで本誌読者相沢悦子様を訪問してきました。玄関先の立ち話でしたが、お元気なお姿を拝見し、大変うれしく思いました。

8月12日から17日までは、長男が駐在するドバイに行ってきました。ドバイは、砂漠の中に超近代的な街が出来上がっているところで、驚きの連続でした。行きの飛行機の中とドバイ滞在中のホテルで、小西先生の特別説教の原稿を見直しました。能率がずいぶんはかどって、旅行中に一応の原稿が出来上がりました。さらに細かく見て、12月には、本として発行したいと思います。暑い日が続きますが、皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成28年8月27日

山口周三

エンカウンターのご読者各位